

10. 地元問題について【県土整備部長】

- 国道122号の渋滞解消について
 - 鳩ヶ谷変電所前交差点の渋滞解消のその後の取組みについて伺う。
- 内水氾濫（伝右川・青木水門付近）について
 - 伝右川付近の東川口地域の内水氾濫対策のため、この流域の河川調節池の整備を進める必要があると考えるが見解を伺う。
 - 青木水門付近において、雨水を一時的に貯めて地中へ浸透させる、グリーンインフラ整備の推進をどのように考えているのか見解を伺う。



県土整備部長 まず、(1)「国道122号の渋滞解消について」でございます。鳩ヶ谷変電所前交差点は、交通量の多い4車線の国道122号に、県道さいたま鳩ヶ谷線や県道東京鳩ヶ谷線などが近接して交差する複雑な交差点となっており、交通渋滞や事故が発生しております。これまでに、交差点内にある三ツ和歩道橋を撤去し、既存の道路幅員の中で、県道さいたま鳩ヶ谷線方面への右折帯を整備するなど、対策を行ってまいりました。この交差点の渋滞解消につきましては、まずは、複雑な交差点の交通状況を詳細に把握するための調査を、令和5年度に実施してまいります。その後、調査結果の分析を行い、渋滞解消に向けた可能な対策を検討してまいります。



鳩ヶ谷変電所前交差点

県土整備部長 (2)ですが洪水時において、この地域の伝右川は、龍坎(たついか)水門を閉鎖することで一の橋放水路を経て綾瀬川に合流いたします。一の橋放水路よりも上流の河道整備は完了しており、洪水を流れやすくするためには、合流先の綾瀬川の流量を低減させることが重要です。綾瀬川では、これまでに大門上池調節池など、さいたま市内3か所の調節池が完成し、台風第2号の出水の際にも洪水調節機能を発揮したところで、さらに、上流で横根調節池や原市沼調節池の整備を進めてまいります。



先日の台風第2号来襲時の伝右川付近の水漏れ

次に、「青木水門付近におけるグリーンインフラの整備の推進」についてでございます。雨水を一時的に貯めて地中に浸透させるグリーンインフラの整備については、関係者が協働して取り組むことが重要です。県では、川口市と平成24年度に「河川・下水道事業調整協議会」を設置し、浸水被害の軽減に向けた連携方策の検討を行ってまいりました。例えば、昨年度から、川口市が日芝川流域などで道路の植樹帯を活用し土壌に雨水を浸透しやすくする「雨庭(あめにわ)」の試験施工を行い、効果検証を進めることとしております。引き続き市と連携し、グリーンインフラの整備を含む浸水被害の軽減に取り組んでまいります。



新芝川の水漏れ

さいたま県土整備事務所に連絡後、現在調査中で早急に対処中

しらね だいすけ

埼玉県議会議員
(南2区川口市)

住み続けたい街、埼玉・川口を!
県政報告 2023/08

令和5年度 6月定例会の主な概要

埼玉県議会6月定例会は6月19日から始まり、7月7日に人事議案や警察官の増員に対する国への要望等12件の意見書等を全会一致で採択し、閉会しました。

今回定例会に上程された議案は6件で、「埼玉県税条例の一部を改正する条例:地方税法の一部改正に伴い、自動車税の環境性能割の税率適用区分を改める等するとともに、併せて農業を営む者等の免税軽油の引取り等に係る報告の期限の特例を定めるための改正」などの条例が5件、そして工事請負契約の締結が1件の計6件となります。このほか報告事項として予算繰越報告7件、専決処分報告1件、公社等の経営状況報告20件の計28件、計34件となっております。ちなみに、6月の補正予算は4年ぶりにありません。また、6月19日付けで、日吉亨氏を新教育長に知事は任命致しました。6月27日には条例3件を急施案件として議決しました。

しらね一般質問に立つ!

しらねはこの6月定例会にて一般質問初日(2023年6月23日)の2人目として質疑質問を行いました。その一部の内容を中心に要約してお伝えします。



1. 県営水上公園の利用許可問題について【知事】

- 県と協会の情報共有について、今後、どのように改善していくべきと考えるのか、また突如中止をしてしまった団体への対応はどのようにするのか伺う。

知事 指定管理者である埼玉県公園緑地協会より、当初、許可条件に違反した事業者に中止要請をしたとの報告がありましたが、実際には、中止要請の対象となった団体の中に、許可条件違反が確認できなかった団体や、同様の許可条件を付していなかった団体が含まれていることが判明いたしました。このため、県としては適切ではないと判断し、協会に対して、中止要請の撤回を指導したものであります。

※協会を所管する県と協会の情報共有について、今後、どのように改善していくべきと考えるのか、また、突如中止をしてしまった団体への対応はどのようにするのかについてであります。

しかしながら、今回、適正な報告がなされておらず、事実関係に誤りがあったため指導を行いました。今後は、協会に対し正確な情報を伝達するよう指導してまいります。また、突如中止してしまった団体とありますが、2月の段階で提示した詳細にわたる許可条件に違反したことが確認された団体と、その他中止要請を行った団体のことと理解をし、答弁をさせていただきます。これらの団体に対しては、許可の権限を持っている協会が誠実に対応するものと考えております。



2. あと数マイルプロジェクトについて【知事】

- ルートへの絞り込みにあたり、新交通システムの延伸のみを試算するのではなく、様々な新しい軌道交通を含めての費用便益を検討しては?延伸先や接続先については?

知事 日暮里・舎人ライナーの延伸に向けては、現在、令和3年3月の公共交通の利便性向上検討会議報告書に示された取組の方向性を踏まえ、ルートへの絞り込みに向けた調査を実施しております。現時点では引き続き報告書を踏まえ、既設線の延伸に向けた検討を進めてまいりたいと考えております。

ルートへの絞り込みに当たっては、今後、ルートごとの実現可能性の分析、沿線地域のまちづくりなどの検討、関係自治体の機運醸成などが必要となります。



3. DX推進と生成AIについて(ChatGPTなど)【企画財政部長】

- 生成AIは、商工支援への活用も期待できると思うが、どう考えるか。

企画財政部長 議員ご指摘の商工支援につきましても、県庁内部での活用を通じて得たノウハウを、県内事業者の方々に還元できる可能性があります。人手の少ない小規模事業所では、定型的な事務の効率化から広報の企画・文案作成まで幅広い活用が考えられます。本県が目指す社会全体のDXの実現には行政のみならず県民、事業者全ての領域でデジタルを有効活用する必要があり、幅広い分野における生成AIの普及・活用に取り組んでまいります。



所属する会派で新潟県に視察
地元自治会の皆さんと日々交流
平日はほぼ毎日駅頭・街頭活動



大野元裕埼玉県知事と対談



しらねだいすけ Profile

1979年5月13日生まれ、川口市朝日出生、十二月田(しわすだ)小・中学校卒業、正則学園高校卒業、ポス頓大学(政治科学学部)卒業<留学中マンチェスター市長室でインターン経験>、富士通(株)入社し、営業とSEのビジネス支援部隊に配属→退社、2007年の統一地方選挙で市内交通網(特に、コミュニティバス路線網)の再構築、市議会の見える化など市政の改善を目指し市議会議員に立候補、2位(4764票)で市議会最年少(27歳)当選を果たす。鳩ヶ谷から埼玉県議会議員選挙立候補するも惜敗。捲土重来を期し、翌日から活動、石田勝之元衆議院議員秘書を経験し、2015年合併後初の新川口市選挙区で埼玉県議会議員に立候補するも次点、大野もとひろ参議院議員事務所スタッフ。朝日2丁目副町会長歴任。2019年の埼玉県議会議員選挙で初当選、2023年には2回目の当選を果たす。現在:学習塾等を経営、川口市消防団員、川口市立十二月田中学校同窓会会長、NPO法人メディカルヘルスケア療法協会顧問、川口むさし野RC、川口YEG、川口市ワンバウンドふらば〜るバレー参与、(公社)川口青年会議所卒業【令和5年度:企画財政常任委員会、地方創生・行財政改革特別委員会 所属】

やります! できます! 届けます!



詳しい情報や各種SNSはこちら

討議資料

埼玉民主フォーラム川口支部 TEL:048-229-0461 FAX:048-229-0462
〒332-0001 川口市朝日 2-17-7 <https://www.d-shirane.jp/>

